

令和2年11月市議会 環境経済委員会資料

第166号議案 令和2年度長崎市一般会計補正予算（第13号）

〔文化観光部所管分〕

【目次】	(予算説明書頁)	(資料頁)
新型コロナウイルス感染症収束に向けた新たな観光振興策について		1
[2款 総務費]		
2・1・22 世界遺産推進費		
<<繰越明許費補正>>		
【補助】世界遺産保存整備事業費補助金		
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」	60～61	2～4
[7款 商工費]		
7・1・4 観光費		
1 観光振興対策費		
1 DMO推進費	40～41	5～12
2 観光資源魅力推進費	40～41	13～16
3 事業持続化支援金	40～41	17
4 「新しい生活様式」対応型イベント開催費補助金	40～41	18～20
2 イベント共催費負担金		
1 長崎帆船まつり事業共催費負担金	40～41	21～24
<<繰越明許費補正>>		
観光振興対策費		
DMO推進費	64～65	5～12
観光資源魅力推進費	64～65	13～16
「新しい生活様式」対応型イベント開催費補助金	64～65	18～20
観光客誘致対策費		
WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン事業費	64～65	25～26
イベント共催費負担金		
長崎帆船まつり事業共催費負担金	64～65	21～24
<<債務負担行為補正>>		
軍艦島資料館指定管理	84～85	27

文化観光部
令和2年11月

新型コロナウイルス感染症収束に向けた新たな観光振興策について

緊急期 リハビリ期 復活期

R3.11.18

事業名	補正予算	補正予算額 (千円)	令和2年度												令和3年度					対象
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	~	
新型コロナウイルス感染症への対応																				
1 感染拡大防止効果の最大化																				
(2) 新しい生活様式の定着																				
「新しい生活様式」対応型イベント開催費補助金	9月補正	20,000																		
「新しい生活様式」対応型イベント開催費補助金	11月補正	20,000																		
計		40,000																		
2 社会経済への影響の最小化																				
(1) 地域経済の活性化																				
お得に泊まって長崎市応援キャンペーン事業費	6月補正	67,520																	県内	
お得に泊まって長崎市応援キャンペーン事業費	9月補正	233,576																	県内	
WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン事業費(長崎からの手紙)	6月補正	3,676																	全国	
WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン事業費(宿泊キャンペーン)	6月補正	164,986																	全国	
計		469,758																		
(2) 社会活動や市民生活の維持・回復																				
事業持続化支援金(宿泊、軍艦島クルーズ、観光バス)	4月補正	231,990																		
事業持続化支援金(宿泊、軍艦島クルーズ、観光バス)	11月補正	▲14,420																		
出島運営費	6月補正	83,142																		
グラバー園運営費(観光施設事業特別会計)	6月補正	106,047																		
ロープウェイ事業運営費(観光施設事業特別会計)	6月補正	40,056																		
出島運営費	9月補正	61,407																		
グラバー園運営費(観光施設事業特別会計)	9月補正	54,813																		
ロープウェイ事業運営費(観光施設事業特別会計)	9月補正	2,854																		
旧香港上海銀行長崎支店記念館運営費	9月補正	1,880																		
軍艦島資料館運営費	9月補正	2,114																		
計		569,883																		
計		1,039,641																		
計		1,079,641																		
ポストコロナ社会を見据えた対応																				
1 ポストコロナ社会に対応した都市へのレベルアップ																				
(1) 将来を見据えた社会基盤・経済基盤への投資																				
DMO推進費(新しい生活様式に対応したコンテンツの情報発信事業)	9月補正	12,780																	国内・台湾	
DMO推進費(新しい生活様式に対応した有償ガイド育成事業)	9月補正	9,460																	国内・海外	
DMO推進費(国内向けポストコロナプロモーション)	11月補正	36,300																	国内	
DMO推進費(MICE誘致受入強化)	11月補正	11,805																	国内・海外	
長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金	9月補正	60,344																		
帆船まつり事業共催費負担金	11月補正	54,317																		
観光資源魅力推進費	11月補正	4,333																		
計		189,339																		
合計		1,268,980																		
うち11月補正計		112,335																		

※その他、新しい生活様式の定着：「team NAGASAKI SAFETY」や「旅行者安全・安心ガイドライン作成」、地域経済の活性化：「新しい生活様式対応長崎さるく」や「市有観光施設の市民無料化」、「日本在宅薬学会オンライン開催」観光PR・物産販売・ユニークベニューを活用したオンライン懇親会、将来を見据えた社会基盤等への投資：「出島ワーフ de 朝活プロジェクト」を実施

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許費
ページ	款	項	目		
60 ～ 61	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産推進費	【補助】世界遺産保存整備事業費補助金 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」	千円 54,558

1 概要

平成30年7月に世界遺産登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の関連資産である重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」の重要な構成要素を適切に保存管理するため、調査や整備を行う。

2 事業内容

(1) 大平作業場跡整備事業 54,558千円

所有者が実施する重要文化的景観の重要な構成要素の整備事業に対する補助

(ア) 事業内容

- ・活用施設工事(石壁修復・補強工事、建具工事、屋根工事、見学ブリッジ工事等)
- ・工事監理

(イ) 事業費

総事業費:66,130千円 市補助:54,558千円(82.5%) 所有者負担:11,572千円(17.5%)

国補助(65%) 県補助(14%) 市補助(21%)
35,462千円 7,638千円 11,458千円

(2) 石積み(ネリベイ)建物整備事業 744千円

合 計 55,302千円

3 繰越理由

大平作業場跡保存修理工事において、台風10号の影響により、工事が年度内に完了しない見込みであるため。

4 繰越明許費

事業名	金額		財 源 内 訳			
			国庫支出金 ※1	県支出金	地方債※2	一般財源
【補助】世界遺産保存整備事業費補助金	予算現額	千円 55,302	千円 27,651	千円 11,060	千円 16,500	千円 91
	支出予定額	744	483	104	100	57
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」	繰越明許額	54,558	35,462	7,638	11,400	58

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業補助金 補助率50%→65%に変更(R2.4月～)

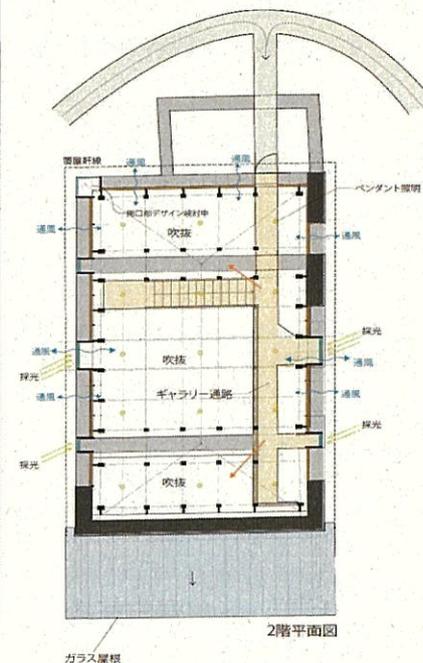
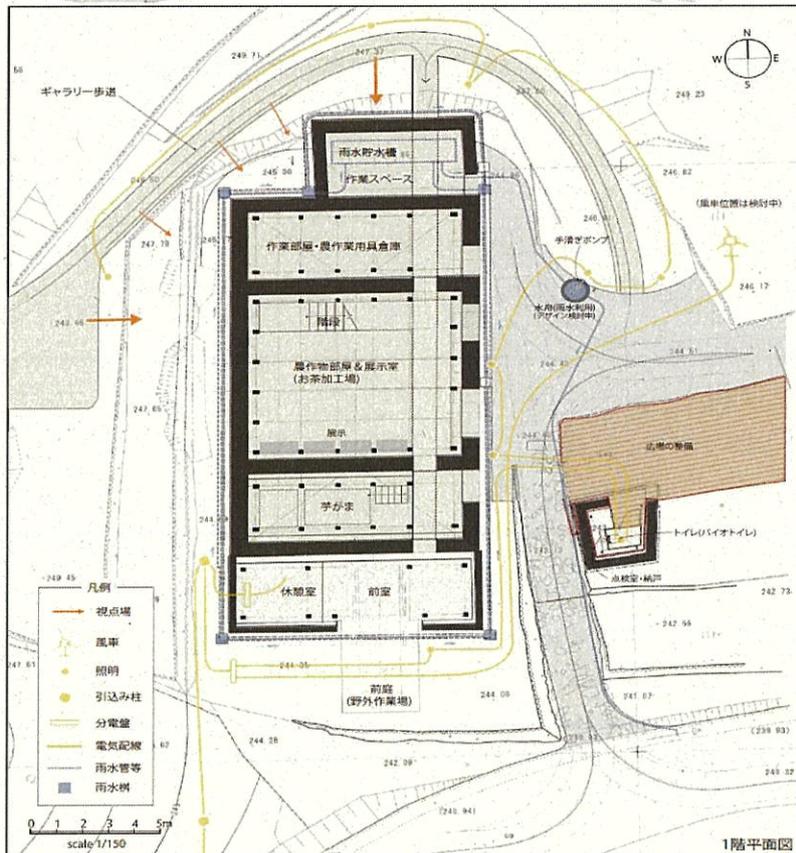
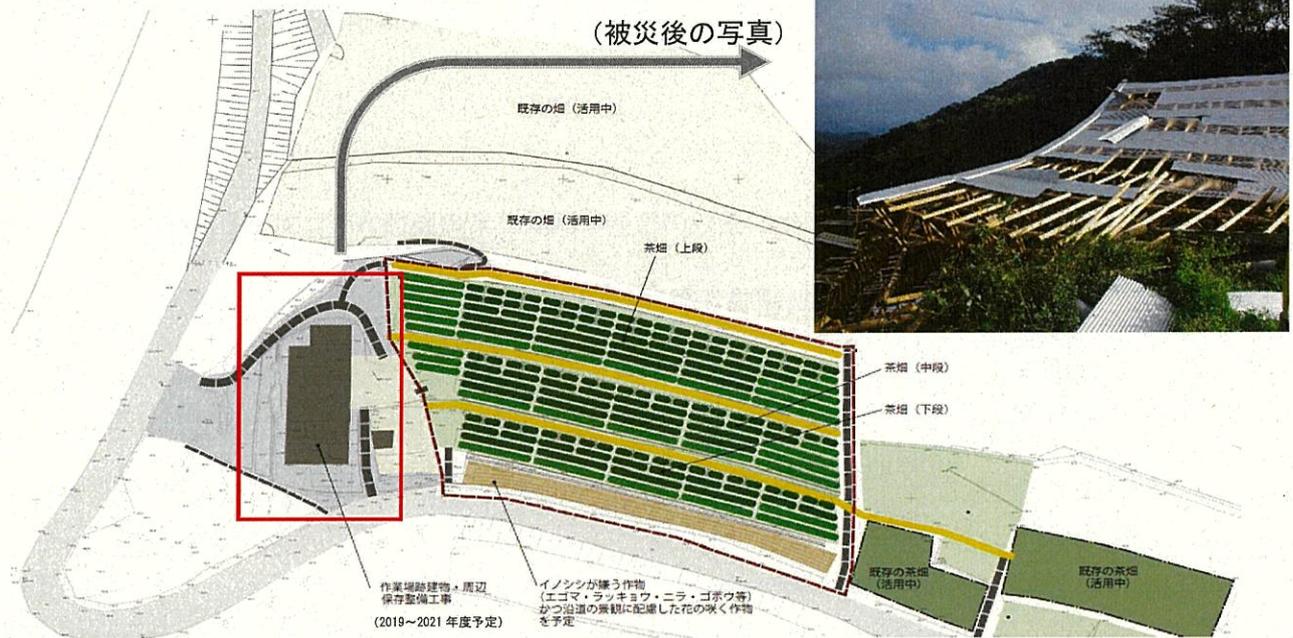
※2 過疎対策事業債 充当率100%(交付税措置率70%)

繰越対象事業

5 スケジュール（予定）

年度	令和2年度												令和3年度					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
工程	令和元年度分工事					台風	令和元年度分工事					令和2年度分工事						

6 全体図（茶畑・お茶加工場整備）



7 位置図



(1)大平作業場跡整備事業
被災後の写真



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
40 ～ 41	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-1	DMO推進費	千円 48,105

1 概要

国のGo To Travel キャンペーン終了後に実施予定の「WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン」による誘客効果を高めるとともに、同キャンペーン終了後においても、継続的に長崎への訪問意欲を喚起するため、DMOにおいて国内向けのプロモーションを実施する。

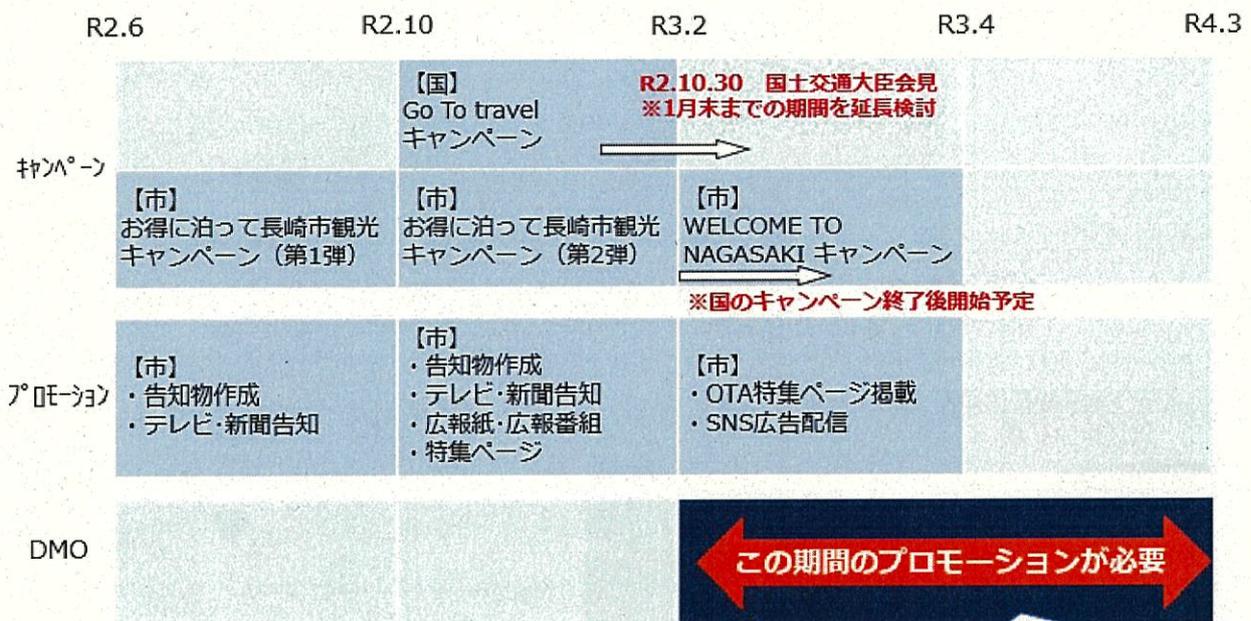
また、MICE 誘致について、出島メッセ長崎をはじめとするコンベンション施設の新型コロナウイルス感染症対策など安全・安心の取組みの周知を図るとともに、MICE 参加者の滞在・周遊を促進するまに MICE プロジェクトの取組みを推進する。

2 事業内容

(1) 国内向けポストコロナプロモーション

36,300千円

「WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン」と連動した OTA プロモーションを実施するとともに、同キャンペーン終了後においても継続した情報発信を行い、長崎への訪問意欲を喚起する。



「WELCOME～」による宿泊促進に加え、体験型コンテンツや周遊プランなどの情報を発信することで、消費拡大につなげる。

※ 「WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン」については、国のGo To Travel キャンペーンが終期を延長しても、その終了後から実施予定。

ア WELCOME TO NAGASAKI キャンペーンと連携したプロモーション 8,250 千円
WELCOME TO NAGASAKI キャンペーンのプロモーションを行うメディア（スマートフォンアプリ、WEB ニュース、SNS、雑誌など）を活用して長崎の魅力を発信する。

(ア) 実施期間 WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン開始 1 か月前から 3 か月間

(イ) 事業費内訳

- a 取材費 200 千円×3 日×1.1=660 千円
- b 掲載費用 2,300 千円×3 か月×1.1=7,590 千円

イ WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン終了後のプロモーション 28,050 千円

個人旅行に強いオンライン・トラベル・エージェント (OTA) の WEB サイトトップページに特設ページやバナーを掲載することで、長崎の季節ごとのおすすめ情報を掲載し魅力発信を行うとともに、閲覧者を DMO が運営する「あつ!と ながさき」のサイトへ引き込む。

また、民間事業者と連携し、着地商品のクーポンを付与することで WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン終了後においても消費者の「お得感」を強調し、切れ目なく PR することでキャンペーン終了後の旅行需要の落ち込みを軽減する。

さらに、サイトの閲覧者やメルマガ等を活用し、アンケート等を同時に実施することで、効果測定を行い今後の国内観光誘客のための基礎データとする。

(ア) 実施期間 令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月

(イ) 事業費内訳

a 年間プロモーション

- (a) トップページバナー掲載 1,000 千円×4 か月×1.1=4,400 千円
四季ごとのイベント等に合わせたバナー広告を行い、特設ページへの誘導を図る。
- (b) メディアプロモーション 1,150 千円×12 か月×1.1=15,180 千円
スマートフォンアプリ、WEB ニュース、SNS、雑誌など各種メディアを活用し、WELCOME TO NAGASAKI キャンペーンから継続したプロモーションを実施する。
- (c) キャンペーン広告 6,600 千円
宿泊・交通費パックの特集ページを掲載することで、旅行検討中のサイトユーザーの関心を引き、効果的なプロモーションを実施する。
 - ・宿泊予約サイトへの掲載
 - ・サイトと連携した雑誌への掲載
 - ・体験・アクティビティクーポン等の配付

b プロモーションの効果検証 1,430 千円

宿泊予約サイト会員に対してメルマガの配信及びアンケートを実施することで、今後のプロモーション展開やターゲット分析に活用する。

- ・ターゲティングメール配信 (10 万通)
- ・HTML 原稿製作
- ・アンケート実施

c JR 九州アプリトップページ広告 440 千円

JR 九州アプリ (ダウンロード 120 万人) のトップページに広告を掲載し、公式観光サイト等への誘導と長崎への誘客を図る。

【参考】

1 Go To Travel キャンペーン

(1) 概要

新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ旅行需要を喚起するため、宿泊を伴う旅行及び日帰り旅行代金の最大5割を国が補助する。

(2) 事業費 1兆1,248億円

(3) 実施期間 令和2年7月22日～令和3年1月末（地域共通クーポンは10月1日～）

※10月30日の国土交通大臣の会見で、1月末までを目途としている期間については、感染状況や観光需要の回復状況、予算の執行状況等を見つつ、検討する旨の発言あり。

(4) 7月22日～10月15日の実績

利用宿泊数 約3,138万人泊・割引支援額 約1,397億円



2 WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン

(1) 概要

Go To Travel キャンペーン終了後、長崎市独自の旅行者割引キャンペーン（オンラインクーポンの発行）を展開し、割引額は最大1人当たり1万円で、1万5千人の誘客を図る。

(2) 事業費 150,000千円（10千円×15,000人）

(3) 実施期間 国のキャンペーン終了後、3か月間

(4) キャンペーンプロモーション

オンライントラベルエージェント（OTA）へ特集ページを掲載するとともに、OTAのページに誘導するための広告を打つことで、OTA以外のユーザーの取り込みを図る。

3 R4 年秋佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン

《※令和2年10月28日(水) 市町関係主管課長会議資料等抜粋》

(1) 概要

JRグループと地元自治体、観光関係団体等が連携して、集中的に宣伝・販売を行う国内で最大規模の観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」を、令和4年秋に、長崎県・佐賀県の広域エリアで開催。

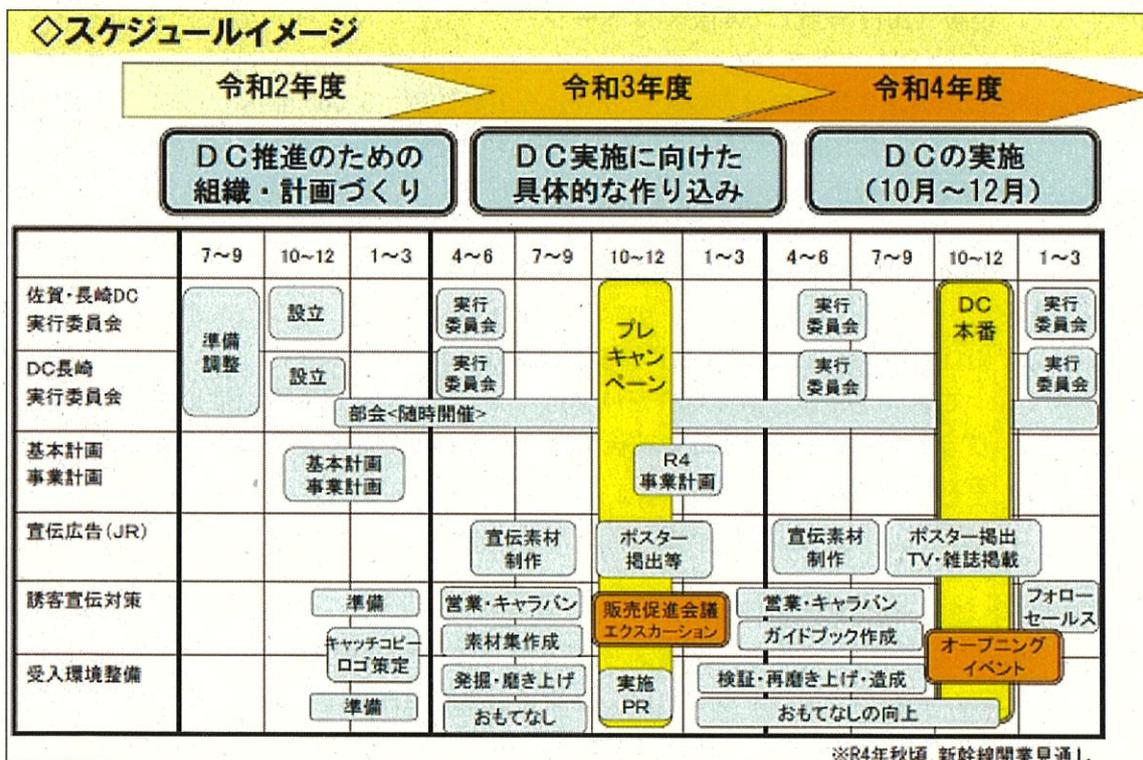
(2) 事業費

事業費内訳 (R3~4の2年間)

【単位:千円】

	R3	R4	総事業費 (R3+R4)
長崎県	50,000	50,000	100,000
佐賀県	50,000	50,000	100,000
合計	100,000	100,000	200,000

(3) スケジュール (案)



※令和3年度の直接誘客する事業は、販売促進会議 (1日) エクスカーション (1~2日) の最大3日間となる予定。

【参考: H28年秋 DC取組】

①全国宣伝販売促進会議

日時: H27年11月18日(水)

会場: ホテルニュー長崎

参加者: 575名うち県外招待客 459名

(旅行会社、JR各社、雑誌関係者等)

②エクスカーション

日時: H27年11月19日(木)~20日(金)

設定: 8コース

参加者: 221名

(2) MICE 誘致・受入機能強化

11,805千円

ア 誘致・プロモーション

出島メッセ長崎のPRについては様々なMICEが行うものの、DMOにおいては、長崎市がMICE都市として機能や受入態勢を十分に備えていることを総合的にPRしていくため、必要となるプロモーションツールを作成するもの。

(ア) プロモーションツールの作成

3,255千円

商談会やセールス時に使用するガイドブック等について、情報更新するとともに、強みとなる感染症対策等を盛り込み、誘致に活かしていく。

これらの内容については、今後WEBを中心にデジタル化も図るものの、商談等においては、一定紙ベースのものが必要であるため、最低限の部数を作成する。

a コンベンションガイドブックの内容更新・印刷 (5,000部)

2,255千円

出島メッセ長崎、ヒルトン長崎など新たな施設を追加・更新するとともに、コンベンション施設の感染症対策や宿泊施設の「team NAGASAKI SAFETY」など誘致の強みとなる取組みも掲載する。

現版 (2017年版) : A4版×84ページ

b 国際会議主催者向け英語版パンフレットの印刷 (5,000部)

250千円

現在、日本政府観光局 (JNTO) において国際会議を誘致するため作成中の全国16のMICE都市 (長崎市も選定) のガイドブックの長崎市版データ (英語版) を活用しながら内容の刷新を図る。

現版 (2019年版) : A4版×16ページ

c MICE参加者向け観光ガイドブックの印刷 (10,000部)

750千円

これまでの施設観光紹介だけではなく、DMOが取組みを強化している体験型プログラム等も掲載し、MICEの前後にどんな楽しみ方ができるのか提案できるような内容に刷新する。

現版 (2019年版) : 210mm×220mm版×24ページ

(イ) 各種媒体への広告・出稿

4,600千円

MICE主催者に向けて、出島メッセ長崎等の施設の感染症対策や「team NAGASAKI SAFETY」、DMOのワンストップ窓口の機能強化の取組み等について、WEBや専門誌等を活用し広く周知することで、誘致促進を図る。

a 専門誌 (医学、水産工学等の専門誌 : 6回)

2,400千円

学会向け : @400千円 (見開き2ページ程度) ×6回

b ICCA (※1) ホームページへのバナー掲載 (12か月)

2,200千円

感染症拡大の状況から、次年度も海外主催事務局・コアPCO (※2) との商談等が十分に行えないことが予測されるため、観光庁MICE事業の海外アドバイザーの助言を受け、最も効果が高いとされるICCAのホームページで周知を図る。

国際会議主催者等向け : @1,500ユーロ (1ユーロ≒122円) ×12か月

※1 ICCA : International Congress and Convention Association (国際会議協会)

国際会議の開催状況を収集・発信している国際機関。

1,100以上の企業や団体、約100の国・地域が加盟し業界を牽引するMICE分野における最大規模の業界団体。

長崎国際観光コンベンション協会は、令和元年度からICCAに加盟している。

※2 コア PCO

国際学会の企画や準備に複数年携わり、開催地など決定に関して大きな影響力を有する会議運営会社で大小様々な国際MICE案件を取り扱い、ICCAに加入している。

イ まち MICE プロジェクトの推進

(ア) 体験プログラムの充実

2,000千円

現在、DMOにおいてビジネスパーソンを対象に少人数でも楽しめるメニューの充実に取り組んでいる。主に修学旅行生向けの約160の体験プログラムを中心に、抽出・調査し、有識者の意見や事業者へのヒアリング及びモニターツアーを行い、MICE参加者向けに磨き上げ、今年度30件程度の商品化を目指している。

令和3年度にかけては、さらに10件程度のプログラムを追加で商品化する。

a	モニターツアーの実施、撮影等	700千円
b	WEBサイトの更新等	750千円
c	パンフレット作成等	400千円
d	報告書作成等	150千円

【体験プログラムのイメージ】

1 R2年度商品化に向けて取り組んでいるプログラムの一例

- ・大人のハタづくり・ハタ揚げ体験
- ・中島川カヤック
- ・軍艦島を眺めながらの海釣り、釣り上げた魚の刺身・炭火焼体験 など

2 今後拡充していくもの

- ・ビーチ等を活用したグランピング
- ・企業のインセンティブツアー向けの地域貢献プログラム など

(イ) おもてなしの向上

850 千円

新型コロナウイルス収束後の現地会議開催を見据え、MICE の開催をまち全体で歓迎していることを示すものとして、横断幕と小旗（バナー）を作成し、主催者・参加者の目に留まりやすい長崎駅周辺等に掲示するとともに、市民に対しても、学会・大会等の開催について知らせることで、おもてなし機運を醸成する。

- a 制作物 横断幕（日・英併記）1 枚、小旗（バナー） 100 枚
- b 掲示対象 MICE 500 人規模以上の学会・大会
- c 掲示場所 長崎駅周辺など MICE 主催者・参加者、市民の目に触れる場所
- d 掲載期間 学会・大会の開催期間中

ウ MICE 統計調査に係るシステム構築

1,100 千円

MICE（コンベンション）統計調査については、DMO において毎月市内の約 40 施設に対し照会をかけ、データや FAX で回答があった開催状況（件名、時期、場所、参加者数、大会規模等）について取りまとめ、集計している。

これらの作業の効率化と省力化を図るため、入力・集計を行うクラウドシステムを構築し、データを蓄積することで、今後戦略的な MICE 誘致を行っていくための基礎資料とする。

【イメージ図】

開催実績をコンベンション協会が入力・集計



各施設担当者が毎月開催実績を報告

各施設担当者が毎月入力



3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金 ※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 48,105	千円 48,105	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —

※ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 充当率100%

【繰越明許費】

事業費		財源内訳				
		国庫支出金 ※	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算現額	千円 174,325	千円 98,282	千円 —	千円 —	千円 —	千円 76,043
補正額	千円 48,105	千円 48,105	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
繰越明許額	千円 48,105	千円 48,105	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —

※ 地方創生推進交付金 充当率50%

※ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 充当率100%

4 繰越理由について

年度内に事業が完了しないため。

5 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

観光需要の回復に向け、長崎市の観光の魅力を継続的かつ効果的に発信していく必要がある。
また、長崎市が MICE 開催都市として選ばれるためには、出島メッセ長崎をはじめ、各施設や宿泊施設の感染症対策について主催者に認知してもらうとともに、令和3年11月の出島メッセ長崎の開業に向け、まち MICE プロジェクトの取組みを加速する必要がある。

(2) 効果

- ・「WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン」と連動し魅力を発信することで、宿泊客の周遊・滞在・消費を促す。
- ・同キャンペーン終了後においても、継続的な旅行需要の喚起を図る。
- ・MICE に関する安全・安心の取組みを MICE 主催者にしっかり届けることで、他都市との差別化を図り誘致を促す。
- ・まち MICE プロジェクトの取組みを推進することで、MICE 参加者の市内滞在・周遊と消費拡大を図る。

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
頁	款	項	目	番号		
40 ? 41	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-2	観光資源魅力推進費	千円 4,333

1 概要

伊王島島内主要観光施設周辺の歩道に、島内観光スポットへの方向や距離、所要時間等を示した埋込式案内板を設置し、併せてQRコードを活用することで、多言語対応を可能とした観光情報の発信はもとより、スタンプラリー等観光客が島内を「歩いて楽しむ」ための仕掛けを提供する。

なお、当該事業は「新しい生活様式」を踏まえ、観光客が屋内施設等に集中することを防ぐため、屋外で楽しめるデジタルコンテンツ等を提供することで、観光客を回遊させることを目的とするものである。

2 事業内容

(1) 事業期間 約6か月間

(2) 事業費

初期経費	ハード	埋込式案内板設置等業務委託料 (設置単価：134,200円×23箇所=3,086,600円) (ガードマン派遣単価：19,700円×2人×7日 =275,800円) (デザイン単価：@40,000円×23箇所 =920,000円) ※埋込式案内板は、トライアルオーダー認定品を使用。 ※設置箇所は23か所〔大明寺・馬込協会、伊王島灯台 記念館、千畳敷など〕を予定。	4,283千円
		小 計	4,283千円
	ソフト	事務費(50千円)	50千円
		小 計	50千円
合 計 (補正予算額)			4,333千円

※スタンプラリー等 Web 開発費は事業者負担（長崎市誘致企業との協働）

(3) 参考：令和3年度事業費

ア デジタルコンテンツ管理

・データサーバー料 50,000円×12か月=600,000円

イ スタンプラリー景品

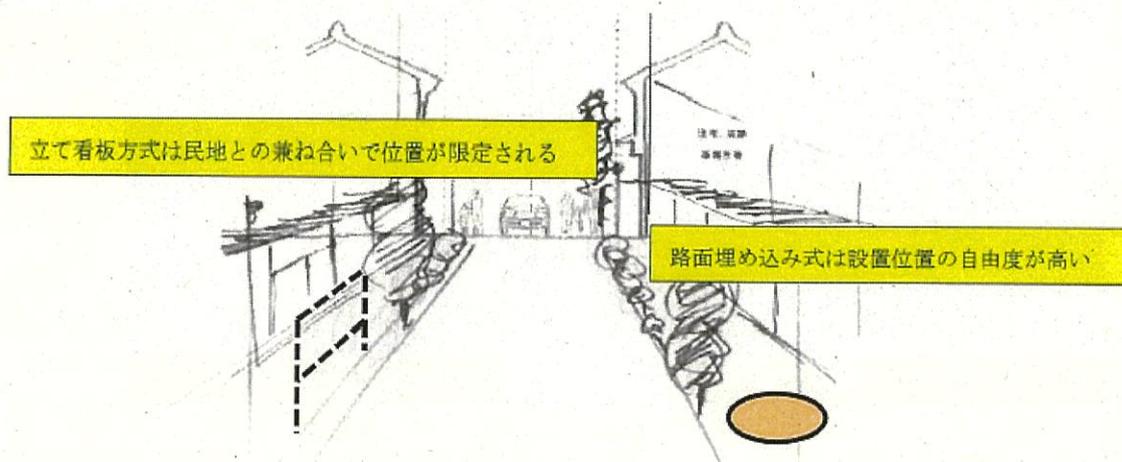
・記念グッズ @3,000円×100人=300,000円

3 設置する案内板イメージ

(1) 案内板設置位置の制約緩和

立て看板方式のサインは、民地との位置関係等によって設置位置が限られ、特に狭隘な路地などではその傾向が顕著である。

路面埋め込み式は、設置位置の制約が少なく、案内が必要な位置にピンポイントで設置することができる。



(2) 誘導矢印のわかりやすさ・更新が可能

鋳鉄製デザインプレートは路面埋め込み方式のため、立て看板と比較して進行方向をわかりやすく表現できる。

また、デザインプレートだけ更新することができるので、情報を書き換えることが可能である。



(3) 観光スポットエリアであることを観光客に示す

鋳鉄の趣とデザインの活用で路面の賑わいを創出し、訪れる観光客に対して、観光スポットエリアであることを明示することができる。



(4) コレクターに訴えかける仕掛け

ご当地デザインを収集するゲーム的な要素を付加することでスタンプラリー等の回遊の二次的な目的をつくることができる。



4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
4,333	4,333	-	-	-	-

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 充当率 100%

【繰越明許費】

事業費		財 源 内 訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算現額	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	1,361	-	-	-	-	1,361
補正額	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	4,333	4,333	-	-	-	-
繰越明許額	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	4,333	4,333	-	-	-	-

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 充当率 100%

5 繰越理由について

埋込式案内板の製作等に時間を要するため。

6 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

伊王島島内には自然・歴史・景観・体験など、魅力豊かな観光素材が多いものの、アクセスや経路に係るサインが不十分なこともあり、観光客が回遊して楽しむ環境が整っていないため、「新しい生活様式」を踏まえつつ、観光客を回遊させる仕組みを構築する必要がある。

(2) 効果

埋込式案内板に島内を回遊して楽しめるデジタルコンテンツ等の付加機能を持たせることで、「新しい生活様式」に対応した「歩いて楽しむ」周遊型観光が促進されるとともに、来島した観光客の滞在時間・満足度の向上が図られる。

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
40 ～ 41	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-3	事業持続化支援金	千円 ▲14,420

1 概 要

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、旅行やイベント、出張の自粛が相次ぎ、深刻な影響を受けて経営が厳しくなった長崎市内で営業する宿泊事業者等への支援金について、申請件数が見込みを下回ったことなどにより不用額が生じたため減額するもの。

2 事業実績

(単位:千円、%)

	予算現額①	執行済額②	不用額 (①-②)	執行率 (②/①)
宿泊事業者	218,880	204,984	13,896	93.6%
軍艦島観光船協議会	7,650	7,560	90	98.8%
観光バス事業者	6,180	6,180	0	100.0%
事務費等	460	26	434	
合計	233,170	218,750	14,420	

3 財源内訳

事業費		財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算現額	千円 233,170	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 233,170
執行済額	千円 218,750	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 218,750
今回補正額	千円 ▲14,420	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 ▲14,420
補正後	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
頁	款	項	目	番号		
40 ～ 41	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-4	「新しい生活様式」対応型 イベント開催費補助金	千円 20,000

1 概要

市内で開催するイベントの主催者に対して、「新しい生活様式」に則したイベントの開催に要する費用の一部を支援することで安全・安心な開催を促すとともに、イベント企画の創出を図り、市内事業者の受注拡大及び地域経済の活性化につなげる。また、コロナ禍におけるイベント開催のノウハウの蓄積と定着を図るもの。

9月市議会で承認を得た「新しい生活様式」対応型イベント開催費補助金（予算額：20,000千円）が上限に達する見込みのため、追加するもの。

2 事業内容

(1) 名称

長崎市「新しい生活様式」対応型イベント開催費補助金

(2) 補助対象者

長崎市内で開催するイベントの主催者

※ 市内の事業者、団体等が主催又は共催するものに限る

※ 1事業者につき1回限り

(3) 補助対象経費

「新しい生活様式」の実践のために新たに発生する経費又は増加する経費

ア 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る経費（サーモグラフィー等のリース料、消毒用アルコール等の購入に係る消耗品費、会場内のサイン等の設置に係る経費等）

イ 検温、監視、観客情報の把握等を行う人員の確保に必要な経費

ウ ソーシャルディスタンスに対応した会場借上の増加経費

エ オンラインとの併催に伴う動画配信等、新たな開催形態の実施に係る経費

オ 料飲提供方法の変更に伴う増加経費（ビュッフェ形式からの変更に伴う経費等）

(4) 補助率等

補助対象経費の3/4（補助限度額：5,000千円）

(5) 事業費

20,000千円

3 補助対象外

- (1) 政治的又は宗教的活動を目的とするもの
- (2) 国又は地方公共団体から他の補助金の交付及び補助金に類する支援を受けているもの
- (3) 法令又は公序良俗に反し、又は反するおそれがあるもの
- (4) オンライン配信のみで実施するもの
- (5) 地域の催事、単なる商品販売等
- (6) スポーツ大会

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金 ※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 20,000	千円 20,000	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -

※ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 充当率 100%

【繰越明許費】

事業費		財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算現額	千円 20,000	千円 20,000	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -
補正額	千円 20,000	千円 20,000	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -
繰越明許額	千円 20,000	千円 20,000	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -

※ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 充当率 100%

5 繰越理由について

年度内に事業が完了しないため。

6 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

イベントの中止が相次いでいる中、「新しい生活様式」に則したイベント開催を支援し、市内事業者の受注促進を図る必要がある。

(2) 効果

- ・安全・安心なイベント開催を後押しすることで、イベントに関連する仕事を創出するとともに、市民の賑わいを創出し、地域経済の活性化につながる。
- ・「新しい生活様式」に対応したイベント開催のノウハウの蓄積と定着につながる。

【参考】9月補正予算受付状況

1. 令和2年9月補正予算額：20,000千円
2. 第1次募集期間：令和2年10月1日（木）～16日（金）
3. 申請件数：11件（メディア関係5件、その他イベント運営事業者等6件）
4. 交付申請額：18,003,000円（一部審査中）
5. 予算残額：1,997,000円

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
頁	款	項	目	番号		
40 41	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-1	長崎帆船まつり事業共催費負担金	千円 54,317

1 概要

開港 450 周年を迎える長崎港に、様々な帆船を招聘し、新たなにぎわいの場を創出することで、観光客誘致と地域の活性化を図るとともに、港・海に対する啓発を促していくため、長崎帆船まつりを実施するもの。

2 事業内容

(1) 事業の主体（負担金交付先）

長崎帆船まつり実行委員会（事務局：長崎市観光推進課）

(2) 実施内容

ア 開催時期 令和3年4月23日（金）～27日（火）

イ 会場 長崎港、長崎水辺の森公園周辺

ウ 招聘予定帆船

日本丸、海王丸、みらいへ、ドントレッダー、観光丸 ほか 計7隻

※海外帆船については、開催時の渡航制限などの見通しが立たないことから国内帆船のみの招聘とする。

エ イベント内容

入港パレード、入港セレモニー、帆船ライトアップ、新生活様式対応イベントなど

3 新たな取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策（2,500千円）

ア 来場者管理

会場内外をフェンス等で仕切り、出入口を指定することで、来場者の受付と入場者数の管理を行う。

プラスチックフェンス：@1,000円×1,050個=1,050千円

イ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う会場運営

会場の備品等を消毒、拭き取り等の清掃業務を行うスタッフの人件費。

@10,000円×24人×5日=1,200千円

ウ 衛生用消耗品 250千円



(2) 新しい生活様式に対応したイベント（8,000千円）

※開港450周年記念のスタートアップ事業として次の点を踏まえながら業者提案の中から選定し、実施する。

- ア 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を意識したイベント
- イ 会場の魅力を向上するイベント
- ウ 船や海に関連したイベント
- エ 回遊性を持たせたイベント

(例)



レーザーショー



ドローン飛行アート

4 事業費内訳

収入			支出	
負担金	長崎市	54,317千円	招聘費	12,840千円
	その他	450千円		
協賛金等		675千円	施設費	16,000千円
雑収入	出店料	0千円		
	体験クルーズ売上金	1,500千円		
	雑収入	51千円	事務費	1,066千円
合計		56,993千円	合計	56,993千円

5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
54,317	54,317	-	-	-	-

【繰越明許費】

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
予算現額	千円	千円	千円	千円	千円
	3,243	-	-	-	3,243
補正額	千円				
	54,317	54,317	-	-	-
繰越明許額	千円				
	54,317	54,317	-	-	-

※新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金 充当率100%

6 繰越の理由

2021 長崎帆船まつりの開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や開港 450 周年記念事業との調整を行うため、早期に事業着手する必要があるが、イベントが令和 3 年 4 月に開催予定であり、今年度内に事業が完了しないため。

7 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

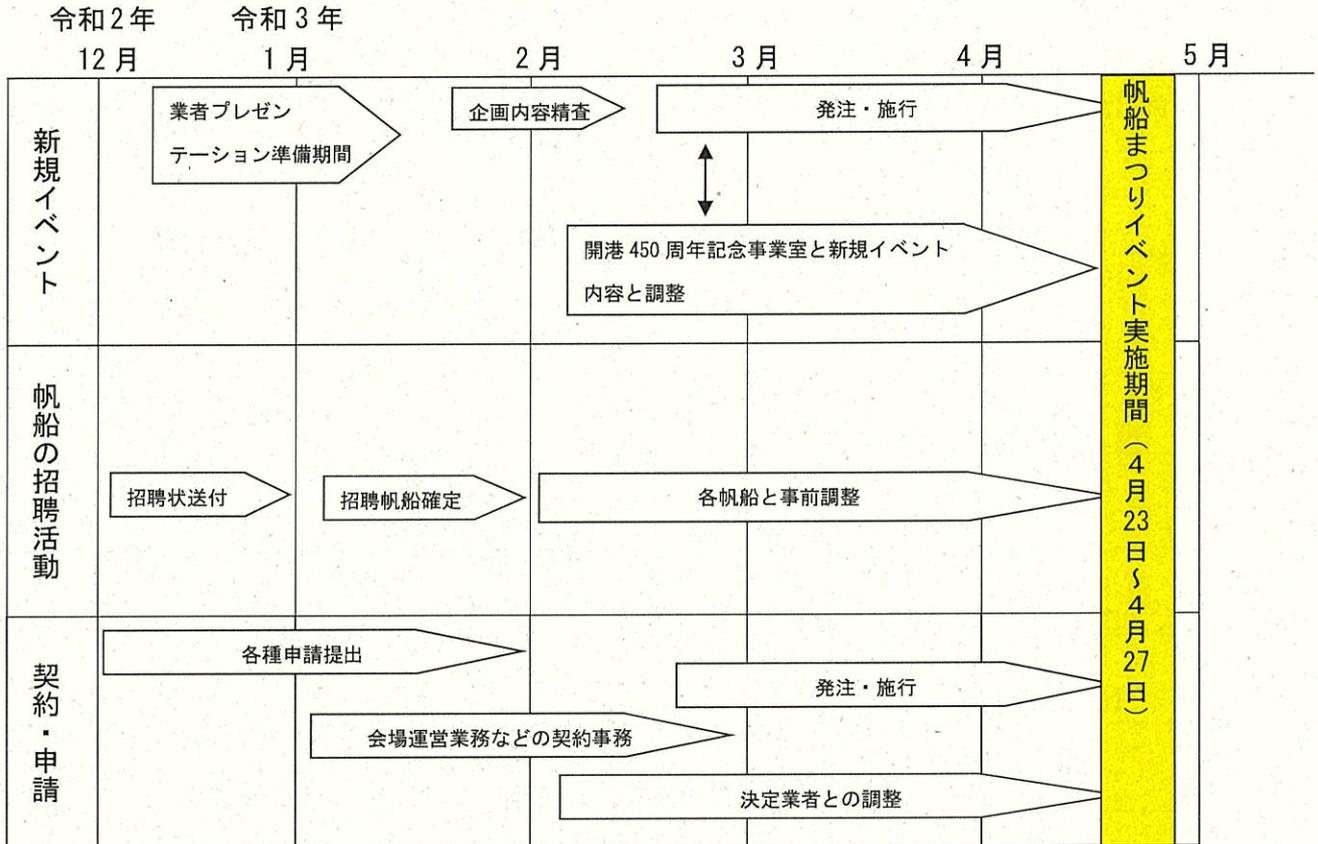
with コロナ、after コロナ期における安全・安心で魅力的なイベントのあり方を検討し、開催する必要がある。

(2) 効果

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、長崎帆船まつりを開催することで、安全・安心なイベントとして認識してもらい、賑わいの創出を図り、地域経済の活性化につなげる。

8 参考

(1) スケジュール



(2) 今年度との予算比較
(収入)

科 目		2021 帆船まつり 予算(案)①	2020 帆船まつり 予算②	差 引 (①-②)	備 考
負担金	長崎市	54,317 千円	38,000 千円	16,317 千円	
	その他	450 千円	450 千円	0 千円	コンベンション協会 150 千円 長崎商工会議所 200 千円 出島ワーフ 100 千円
協賛金等		675 千円	2,700 千円	▲2,025 千円	経済状況悪化に伴う減。
雑収入	出店料	0 千円	1,440 千円	▲1,440 千円	出店をしないことに伴う減。
	体験クルーズ 売上金	1,500 千円	3,000 千円	▲1,500 千円	感染拡大防止策により定員 減に伴うもの。
	雑収入	51 千円	51 千円	0 千円	
合 計		56,993 千円	45,641 千円	11,352 千円	

(支出)

科 目		2021 帆船まつり 予算(案)①	2020 帆船まつり 予算②	差 引 (①-②)	備 考
招聘費		12,840 千円	9,540 千円	3,300 千円	招聘数を 7 隻に増やしたこ とに伴う増。
施設費		16,000 千円	13,415 千円	2,585 千円	招聘数を 7 隻に増やしたこ とに伴う増。
催事費		27,087 千円	21,650 千円	5,437 千円	新規イベントや新型コロナ ウイルス感染拡大防止策を 行うことに伴う増。
事務費		1,066 千円	1,036 千円	30 千円	
合 計		56,993 千円	45,641 千円	11,352 千円	

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許費
ページ	款	項	目		
64 ? 65	7 商工費	1 商工費	4 観光費	WELCOME TO NAGASAKIキ ャンペーン事業費	千円 164,986

1 概要

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全国的に旅行の自粛が相次ぎ、長崎市の観光業も大きな影響を受けている。

国の旅行者支援制度「Go To Travel キャンペーン」の終了後は、観光需要の減少が予測されることから、長崎市独自の切れ目のない効果的な事業を展開し、さらなる誘客を図る。

2 事業内容

- | | |
|--|------------|
| (1) 長崎市独自の旅行者割引キャンペーン（オンラインクーポンの発行） | 150,000 千円 |
| ア キャンペーン対象期間（想定） | |
| 国のキャンペーン終了後、3ヶ月間 | |
| イ 割引額 | |
| 最大 10,000 円/人 | |
| ウ 発行枚数（想定） | |
| 15,000 枚 | |
| (2) 長崎市独自の割引キャンペーンのプロモーション | 14,986 千円 |
| ア オンライントラベルエージェント（OTA）への特集ページの掲載 | |
| OTA のページに長崎市の特集ページを掲載（クーポン発行）し、誘客につなげる。 | |
| イ SNS 旅行サイト広告 | |
| 上記 OTA ページにダイレクトに誘導できる特集ページを作成し、OTA 以外のユーザの取り込みを図る。 | |
| (3) 長崎からの手紙 | 3,676 千円 |
| 長崎市民へポストカードを配布し、市外の知人や友人へ向けた手紙を送付してもらい、長崎市の魅力を発信し、誘客を促進する。 | |
| ア 配布場所 | |
| 市役所本館、各地域センター、観光施設（市民無料開放来訪者）等 | |
| イ 配布枚数 | |
| 50,000 枚 | |
| 合 計 | 168,662 千円 |

繰越対象事業

3 繰越理由

国の「Go To Travel キャンペーン」の終了予定時期が当初の見込みより遅くなることに伴い、年度内の事業完了が困難であるため。

4 繰越明許費

金 額		財 源 内 訳			
		国庫支出金※	県支出金	地方債	一般財源
予 算 現 額	千円 168,662	千円 168,662	千円 0	千円 0	千円 0
支 出 予 定 額	千円 3,676	千円 3,676	千円 0	千円 0	千円 0
繰越明許額	千円 164,986	千円 164,986	千円 0	千円 0	千円 0

※ 新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金 充当率100%

債務負担行為補正		期 間	限度額 (設定額)
予算書頁	事 項		
84 } 85	軍艦島資料館指定管理	令和3年度 (R3.4~R3.10)	千円 2,830

1 債務負担行為の目的

長崎市軍艦島資料館（以下「資料館」とする。）の管理において、一般財団法人長崎市野母崎振興公社を指定管理者として指定するにあたり、指定期間である令和3年度の指定に係る件について、債務負担行為の設定を行うもの。

2 債務負担行為限度額の内訳

(1) 限度額の年度内訳

【単位：千円】

	事項名	令和3年度
収入	観覧料	570
	収入計(A)	570
支出	人件費	2,214
	需用費(被服費、消耗品費、光熱水費、修繕料ほか)	626
	役務費(通信運搬費)	22
	委託料(消防設備点検、機械警備ほか)	285
	その他(賃借料、消費税ほか)	253
	支出計(B)	3,400
限度額(市所要額) (B) - (A)		2,830

(2) 指定管理期間

令和3年4月1日から令和3年10月28日まで

(3) 上記指定管理期間となる理由

資料館は、令和3年10月29日に新たな指定管理者によって運営される「長崎のもぎき恐竜パーク」の構成施設となる予定であることから、資料館単体での運営となる令和3年4月1日から同年10月28日までの期間について指定をする必要があるため。

3 財源内訳

【単位：千円】

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
2,830	—	—	—	—	2,830